

令和5年度 事業報告

2023年4月1日 ～ 2024年3月21日

特定非営利活動法人みずうみ

令和5年度の組織目標

- (1) 利用者様一人ひとりを大切にする事業所づくり ～選ばれる事業所へ～
- (2) 職員一人ひとりが持てる力を発揮できる職場づくり
- (3) 新施設の活用等による新規事業の検討

I 令和5年度の重点的取り組み

- (1) 利用者様一人ひとりを大切にする事業所づくり ～選ばれる事業所へ～

1 利用者様が必要とする支援を理解し提供する

計 画	結 果
1) 利用者様が相談しやすい仕組み →担当制の強化（担当職員の掲示、役割の 明 確化）	担当職員や役割を掲示したが、どの利用者様もサ ビ管またはその時その場にいる職員に相談される ケースが多く、職員数も少ないことからすぐに情 報共有、解決に向け動くことができた。 来年度担当制は一旦中止し、キャリアパスに立ち 戻り、主任の役割（利用者様全体を見て、支援の 充実を図る）を強化していく。サビ管、主任を中 心とし、全職員が同じ意識で利用者様支援に取り 組んでいく。

<p>2) <利用者様が求めること>と<効果的な支援方法>を考える</p>	<p>・利用者様の日々の訴えに対し都度面談し、希望の実現や問題解決に向け、相談員や家族、関係機関と連携して支援を行った。</p> <p>〔支援例〕</p> <p>①グループホーム入所希望の実現。</p> <p>②相談員と一緒に、本人の訴えを家族に伝え、医療機関への相談・受診を促した。</p> <p>・第三者委員相談日を5/15（5人）、9/19（4人）、10/23（5人）、1/15（4人）、3/21（5人）に開催。</p> <p>・上半期分の利用者様満足度調査を9月に実施。下半期は3月に実施。記入困難な利用者様は第三者委員が聞き取りを行った。</p> <p>来年度継続する。</p>
<p>3) 担当職員を中心とした日常的な情報収集とサービス管理責任者への情報の集約</p>	<p>担当に関係なく、全職員がその日に得た情報や気づきを都度サビ管に集約した。</p> <p>来年度職員一人一人が全利用者様を大切にす意識を持って接し、日常的な情報収集、サビ管への情報集約を継続していく。</p>
<p>4) サービス管理責任者と担当職員の協働による支援計画の作成と見直し (計画作成 1回/半年の他必要時、モニタリング 1回/3か月)</p>	<p>サビ管を中心とした支援体制のなかで、個別のニーズを踏まえた計画立案、日々の支援を行った。</p> <p>来年度全職員からの情報を集約し、主任と協働で支援計画の作成と見直しを行う。</p>

2 作業と楽しみの両立支援

計 画	結 果
<p>1) それぞれの能力を発揮、引き出す作業の提供指導</p>	<p>利用者様の作業の好みや得手不得手、希望（工賃等）を考慮しながら作業の割り振りを行った。また、不良が多く見られた時には理由や原因を探り、指導のし直しや作業変更を行った。また利用者様の特性に合わせ、より落ち着いて作業に取り組めるよう提供の仕方も工夫した。作業に気が向かない利用者様にはまず思いを聞くことを心がけ、気持ちを聞いた上で丁寧な説明や作業の促しを行った。</p> <p>来年度利用者様の挑戦したい気持ちを大切にしながらできる作業が一つでも増えるよう、個人に合わせたより丁寧な指導を心がける。特に手順の説明や完成品のチェックだけで終わらず、利用者様がその作業を習得できるよう課題があれば解決策を見つけ、意欲的に取り組めるような声掛けに努めていく。</p>

<p>2) 工賃の維持・向上（高工賃の作業確保、効率化、スペースの有効活用）</p>	<p>6月末に魚の屋の作業が終了し、大幅に工賃が低下した。他の元請け業者に作業量の増量を依頼したが、内職は納期に追われたり、職員の点検の労力が増える等のデメリットも多い反面、工賃維持の効果は低かった。かみありづきからは農作物の下処理作業（生姜皮むき、いちじくカット）を依頼され、内職より高工賃が得られた。</p> <p>みつばちが8/11に開店、8/17から週4日の施設外就労を開始した。委託料の猶予（3名分⇒2名分）に加え、職員の確保が難しく週2日しか実施できない期間もあり、当初の委託料の見込みを大幅に下回ったが、お客様も増え、なんとか年度内経営継続できた。</p> <p>来年度みつばちは店の存続が綱渡りのであり、先行きを予測しながら早めの対応を図っていく。椎茸、内職だけでは工賃の維持が困難なため、新規事業の検討も行っていく。</p>
<p>3) お楽しみやリフレッシュの機会づくり（外出レクリエーションの再開、部活動、お楽しみ会、掲示コーナーの活用等）</p>	<p>5月に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に引き下げとなったため、お出かけレクを3年半ぶりに再開。6月に松江フォーゲルパーク、9月に宍道湖遊覧船・県立美術館に出かけ、12月にはみつばちを会場にクリスマス・忘年会を開催した（コロナ以降に利用開始された4の方がレク初参加）。お出かけレクの再開でこれまで月1回食事・スイーツを提供してきた「あおぞらの会」は終了。グループトークを楽しむ「にこにこの会」は継続。部活動（園芸部）は利用者が種を持参したり、率先して水やりをされていた。掲示コーナーはレクの写真を飾ったり、利用者様の手芸作品が完成すると披露する場として利用した。</p> <p>来年度主任を中心に、お楽しみやリフレッシュの内容の工夫、充実を図り、満足度の向上を目指していく。</p>

3 安全・安心な事業所づくり

計 画	結 果
-----	-----

<p>1) 感染対策の継続（ハード・ソフト両面の感染防止対策、情報の収集・共有・提供）</p>	<p>コロナ5類引き下げに伴い、送迎乗車時の検温と健康観察カードの実施は中止したが、それ以外の対策（マスク着用、手指消毒、テーブル配置、換気等）は継続した。</p> <p>今年度、事業所内でのコロナ感染者は8月上旬に利用者様1人のみ。インフルエンザ感染者0人。</p> <p>来年度基本的な感染対策を継続するとともに、感染症の流行の動向に応じた対応をしていく。</p>
<p>2) 高齢化に対する安全対策（転倒防止のための環境整備と支援提供）</p>	<p>内職作業が増えたことにより、段ボール箱等の数がさらに増えた。動線上に配置しないよう注意し、転倒事故等の発生は見られなかった。また、歩行に不安がある利用者様には段差移動がないよう、全て下のフロアで過ごしてもらうようにした。</p> <p>来年度動線上に障害物がないよう徹底し、転倒を防止していく。</p>
<p>3) 清潔・快適な環境の整備</p>	<p>日々の掃除に加え、汚れが気になるところがあれば都度清掃を行い、清潔な環境の維持に努めた。利用者様の掃除当番の掃除箇所の見直しを行った。</p> <p>来年度職員をはじめ、利用者様も一緒に清潔で快適な環境を維持していけるよう働きかけていく。</p>

〔5年度数値目標〕

計 画	結 果
-----	-----

① 1日平均利用者数=13人

実績=12.9人（前年度実績=13.9人）

※休日出勤を除いた実績=13.1人（前年度14.1人）

利用者様の体調不良、高齢化、一般就労により今年度の退所者は4名。長らく新規利用者が途絶えていたが、以前通所されていた利用者様に声を掛け、8月から通所再開されたが2か月で退所。また、他法人のグループホームに入居された利用者様が感染対策上の問題でその法人の事業所に移動されていたが、12月に解除となり戻って来られた。その後久々に相談支援事業所から紹介があり、1月下旬から1名利用開始され、なんとか運営の立て直しが図れた。

一方、月1～2日の通所にとどまっている利用者様が2名おられ、日数の増加を図れない状況が続いた。

今年度はみつばち開店の影響もあってか、今までなかった湖陵中学校特別支援学級や養護学校中学部の職場体験の依頼があり、将来の利用者の獲得に向けた長期的な展望が少し見られた。

来年度現在の利用者様が今後も継続して利用していただけるよう、支援の充実を図っていくとともに、新規利用者確保の機会を探っていく。

②目標工賃=月 額 15,901円
時間額 351円

実績=月 額 19,253円
時間額 262円
(前年度実績=月 額 16,944円
時間額 395円)

※単純な平均による実績=月額 12,279円
〃 前年度実績=月額 15,786円

*工賃実績

月	平均工賃	月	平均工賃
4月	14,579円	10月	10,172円
5月	15,834円	11月	12,021円
6月	12,395円	12月	12,141円
7月	11,526円	1月	10,519円
	8月 9,878円	2月	12,569円
	9月 9,323円	3月	15,189円

6月末に魚の屋終了。8/17からみつばち開始したが、平均工賃は1万円を切った。訓練等給付費は前年度の工賃実績によって区分が決まるため、今年度の工賃低下により来年度減収する見込みだったが、6年度報酬改正により平均工賃月額の見直しが行われ、障害特性により利用日数が少ない方を多く受け入れている事業所が過度に不利にならないよう改正された。その結果、工賃実績が19,253円と大幅に向上した。

また報酬全体の底上げもなされたため、来年度に関してはむしろ報酬アップすることとなった。来年度現状では工賃の維持はみつばちの存続にかかっている。同時に、利用者様の利用日数の維持・増加、工賃単価のよい作業への促しや作業量向上の指導を行っていく。その一方で、工賃以外の魅力向上の工夫を行っていく。

<p>③椎茸事業=JA出荷重量 4,200kg/年 売上金額 230,000円/月</p>	<p>*売上金額推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>売上金額</th> <th>月</th> <th>売上金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>279,856円</td> <td>11月</td> <td>263,429円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5月 239,214円</td> <td>12月</td> <td>256,219円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>6月</td> <td>221,993円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1月</td> <td>191,874円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>7月</td> <td>214,144円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2月</td> <td>191,840円</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>186,371円</td> <td>3月</td> <td>166,604円</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>206,151円</td> <td>合計</td> <td>2,626,734円</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>209,039円</td> <td>平均</td> <td>218,895円</td> </tr> </tbody> </table> <p>R4年度実績=合計 2,397,706円 平均 199,809円</p> <p>R4年度と比較し合計 229,028円の増 平均 19,086円の増</p> <p>*出荷重量</p> <p>R5年1～12月 3,858kg R4年1～12月 3,648kg R3年1～12月 4,141kg R2年1～12月 3,880kg</p> <p>⇒4年度は5月にエアコン設定ミスにより高温障害を起こしたが、ミスの再発防止に努めたとともに、長期休暇中も発生を極力止めない工夫をした。また品質の向上が見られ、パック品の割合が増加。出荷重量は目標に達しなかったが、売上は過去最高となった。</p> <p>来年度継続する。</p>	月	売上金額	月	売上金額	4月	279,856円	11月	263,429円		5月 239,214円	12月	256,219円			6月	221,993円			1月	191,874円			7月	214,144円			2月	191,840円	8月	186,371円	3月	166,604円	9月	206,151円	合計	2,626,734円	10月	209,039円	平均	218,895円
月	売上金額	月	売上金額																																						
4月	279,856円	11月	263,429円																																						
	5月 239,214円	12月	256,219円																																						
		6月	221,993円																																						
		1月	191,874円																																						
		7月	214,144円																																						
		2月	191,840円																																						
8月	186,371円	3月	166,604円																																						
9月	206,151円	合計	2,626,734円																																						
10月	209,039円	平均	218,895円																																						
<p>④就労移行（一般企業または就労継続支援A型事業所）= 1人</p>	<p>今年度実績=0人</p> <p>前年度に一般就労された2人のうち、籍を残していた1人も順調に継続し、8月に退所された。以降、就職を希望される利用者はおられなかった。</p> <p>来年度一般就労の希望があれば支援を行っていく。</p>																																								
<p>⑤「利用者様満足度アンケート」の結果の向上</p>	<p>上半期のアンケートの結果は、全般的に「よい」が若干減り「まあまあよい」が増えたが、下半期は「ふつう」「まあまあよい」が減り「よい」が増えた。</p> <p>来年度利用者が減少しているなか、現利用者の満足度の向上の重要性がさらに高まっているため、職員全員が意識をひとつにして日々支援に当たっていく。</p>																																								

(2) 職員一人ひとりが持てる力を発揮できる職場づくり

1 職員育休中の体制確立と資質向上

計 画	結 果
<p>1) 職員育休中のチームの構築 →職員間の情報の共有、共通認識の形成、一貫した支援（ミーティング 1回/日、回覧板の活用等）</p>	<p>R5年1月から主任が産休育休に入り、3月に代替職員を採用。新しいチームの構築に努め、情報共有や共有認識の形成を図り、円滑に支援を行えた。来年度4月の主任の復帰を機会に、キャリアパスに応じた体制の再構築を図っていく。</p>
<p>2) 代替職員の育成および全職員のスキルアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外部研修への積極的参加と職員間での学びの共有 ○職員のニーズに応えるテーマで内部研修を開催する（1回/年） ○虐待防止研修の実施（1回/年） 	<p>代替職員は高齢者介護のベテランであり、福祉職員としては即戦力であったため、障害者の支援について適宜アドバイスを行った。</p> <p>みつばちの職員も開店前に事業所内での研修を行い、また内部研修にも参加してもらい育成を図った。</p> <p>○外部研修の参加</p> <p>7/25 令和5年度サービス管理責任者更新研修（清水）</p> <p>8/9～10 令和5年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程【初任者コース】（原）</p> <p>7月 令和5年度発達障がい児・者支援者研修「発達障がいと不登校・ひきこもり」〔動画配信〕（清水）</p> <p>11月 発達障がい支援フォーラム2023〔動画配信〕（清水）</p> <p>○内部研修の実施</p> <p>10/18開催。5人参加。</p> <p>テーマ：精神疾患のある方への対応（統合失調症の医学的基礎とケアの方法等）</p> <p>講師：島根県精神保健福祉士会 形部周平様</p> <p>○虐待防止研修の実施</p> <p>3/13開催。4人参加。</p> <p>講師：（福）邑智福祉振興会 四ツ葉の里地域支援センター所長 下田浩士様</p> <p>来年度資質向上及びリスクマネジメントのための研修を継続する。</p>
<p>3) 職員のニーズの把握（定期面談 1回/半年）</p>	<p>日々職員の意見を聞くとともに、定期面談によりニーズを把握し、体制の調整を図った。</p> <p>来年度継続する。</p>
<p>4) 職員の意見を吸い上げ、体制のモニタリング、見直しを行う</p>	<p>人員配置等体制の望ましいあり方について、職員の意見を聞きながら検討を行った。</p> <p>来年度継続する。</p>

2 ライフステージに応じ、無理なく働ける労働環境づくり

計 画	結 果
-----	-----

1) 各種両立制度の活用促進	落合主任：産休育休 R5.1.1～R6.3.31 復帰後も育児短時間勤務制度を利用。 来年度継続する。
2) 年次有給休暇の取得促進（取得率70%以上）	勤続年数の短い職員は70%を達成できたが、長い職員は付与日数が多いため50%に留まった。 来年度体制に影響の大きくない範囲で、勤続年数の長い職員にも積極的に取得してもらっていく。

(3) 新施設の活用等による新規事業の検討

計 画	結 果
-----	-----

<p>・利用者様の経験の拡大と、工賃の維持・向上を図れる新規事業の検討</p> <p>・地元の環境や資源を生かし、地域に密着した事業展開の検討</p> <p>→準備ができ次第事業を開始する</p>	<p>6/28 和久理氏によるレストラン経営決定</p> <p>8/11 開店</p> <p>8/17 施設外就労開始</p> <p>*作業内容 皿洗い、掃除、スタンプ押し、草取り等。徐々に客数が伸び、PMは皿洗いに追われた。</p> <p>*業務委託料 時給700円×2人分（利用者2名分または利用者1名・職員1名分）×週4日＝78,400円／月。週2日の場合は39,200円／月。本来の契約は3名分。作業に行った利用者様には工賃として1回（1時間45分）1,000円支払い、残りは全利用者様に分配。</p> <p>*利用者様の状況 今まで8人の利用者様が参加。デリケートなタイプの方々が次々参加をやめられ、年度末時点で参加者は5人となった。施設内では経験できない一般社会の空気に触れられることや、忙しいときのやりがい、高工賃に魅力を感じられている。</p> <p>*PRと経営状況 インスタグラムにより情報発信されている。10/28大池・板津・差海地区に620部、3/2江南地区に500部の新聞折込を実施した。 徐々に満席の日も増え、経営は少しずつ軌道に乗っている様子。賑わいのなか、利用者様のやりがいも向上した。</p> <p>*職員確保 職員確保が難しい状況に繰り返し陥ったが、来年度からの人材はなんとか確保できた。 来年度みつばちとの協働に努め、施設外就労に参加する利用者様の支援の質の向上、店の存続への協力を行っていくとともに、必要に応じ今後の事業展開の検討を行う。</p>
--	--

令和5年度事業報告

2023年4月1日 ～ 2024年3月31日

特定非営利活動法人 みずうみ

1 事業の成果

5年度は前年度までの経験を生かし、障がい者福祉事業を主体として、下記の事業を実施した。社会情勢の変化に適応し、安定的な運営を継続していくため、4年度に新施設を取得。正式な移転までの間の利活用として、レストランの営業を一般の方にお願ひし、利用者様の施設外就労を新たに実施した。その結果、利用者様の就労訓練、社会参加、QOLの向上に効果があった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①障害福祉サービス事業所の運営事業	就労継続支援B型事業所運営に必要な総合的支援事業	月～金曜日	ワークケアみずうみ	16人	利用者25人 延べ3142人	22,529
②職業訓練及び就労支援事業	就労のための訓練及び自立のための支援	月～金曜日	ワークケアみずうみ	8人	利用者25人 延べ3142人	3,869
③ノーマライゼーションの普及活動	各団体、組織と共同での啓発活動等(地域イベントへの参加)	地域イベントはコロナ感染防止のため参加中止	ワークケアみずうみ	16人	利用者25人 延べ3142人	418
④リサイクル運動の推進	アルミ空き缶回収・分別作業、回収業者への引き渡し	月～金曜日	湖陵町内、ワークケアみずうみ	利用者、職員、役員、会員、地域住民が協力	利用者25人 延べ3142人	270

※1 「ノーマライゼーションの普及活動」事業では、例年、地域イベント出店による収益及び職員の作業工賃を利用者様のボーナスとして支給しているが、5年度は新型コロナウイルス感染防止のため地域イベントの参加を中止したため、職員の作業工賃のみの支出となった。